



SIC Annual Report (SIC 年次報告)

平成 25 年度

平成 26 年 1 2 月 1 日改訂



株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd.

INDEX

1	インキュベーション施設と入居企業	
1	SIC-1	p 1. 2
2	SIC-2	p 3. 4
3	SIC-3	p 5. 6
4	Desk ¹⁰	p 7
5	SIC 全体	p 8
2	SIC 実施事業	
	ー経営サポートー	
1	企業支援	p 9
2	セミナーの開催	p 1 0
	ー技術開発ー	
3	SIC 燃料電池研究会	p 1 1
4	かながわ環境関連産業ネットワーク事業	p 1 2
5	さがみはら表面技術研究所	p 1 3
6	首都圏南西地域連携サポート事業	p 1 4. 1 5
7	SIC 協創プロジェクト	p 1 6
	ー人材育成ー	
8	SIC 経営塾	p 1 7
9	SIC 職場リーダー養成塾	p 1 8
1 0	さがみはら子どもアントレプレナー体験事業	p 1 9
1 1	SIC アントレ・インターンシップ	p 2 0
1 2	地域産業界の人づくり支援事業	p 2 1
	ー資金調達ー	
1 3	SIC 1 号投資事業有限責任組合	p 2 2
	ー販路開拓ー	
1 4	台湾ビジネスサポート事業	p 2 3
1 5	ビジネスマッチング事業（首都圏南西地域連携サポート事業）	p 2 4
	ーインキュベーションコンサルタントー	
1 6	運営サポート事業	p 2 5
	ーその他ー	
1 7	高度実践型人材育成事業	p 2 6
3	SIC 会社概要	
1	さがみはら産業創造センターの歩み	p 2 7
2	主な事業と開始年度（カテゴリー別）	p 2 8
3	財務状況	p 2 9
4	競争的資金の獲得	p 3 0
5	SIC 及び SIC ファンドの出資	p 3 0
6	スタッフ数の変遷	p 3 1
7	支援ネットワーク	p 3 1
8	海外及び国内からの視察受け入れ	p 3 2
9	新聞掲載	p 3 3
1 0	広報紙「かわらばん」の発行	p 3 4
1 1	株主と役員	p 3 5

1-1-1

S I C - 1 (インキュベーションセンター)

入居対象

<新規創業者>

- ・創業準備中または創業間もない企業および個人
- ・研究開発により、新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す創業間もない企業および個人

<企業>

- ・新分野進出により経営基盤の強化を目指す中小企業
- ・研究開発により新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す中小企業

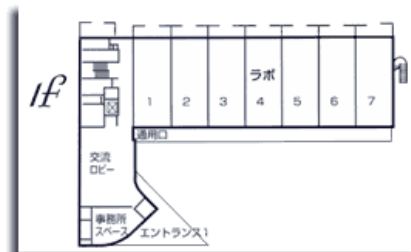
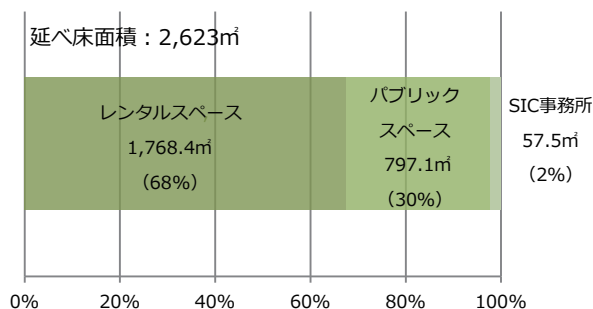
<専門家>

- ・入居企業および地域企業、創業者をサポートすることの出来る専門家
(弁護士、公認会計士、税理士、弁理士、デザイナーなど)

入居期間

3年間(2年間の再契約が2回可)

施設概要



1階平面図



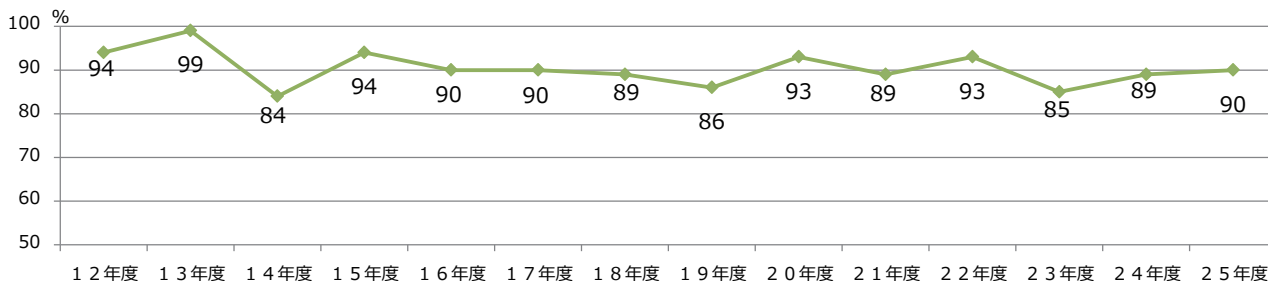
2階平面図



3階平面図

	ラボ	セミラボ A	セミラボ B	スモール オフィス A	スモール オフィス B
設置階	1 階	2 階		3 階	
部屋数	7 室	7 室	7 室	11 室	13 室
床面積	94.5㎡	47.3㎡	31.5㎡	23.6㎡	17.3㎡

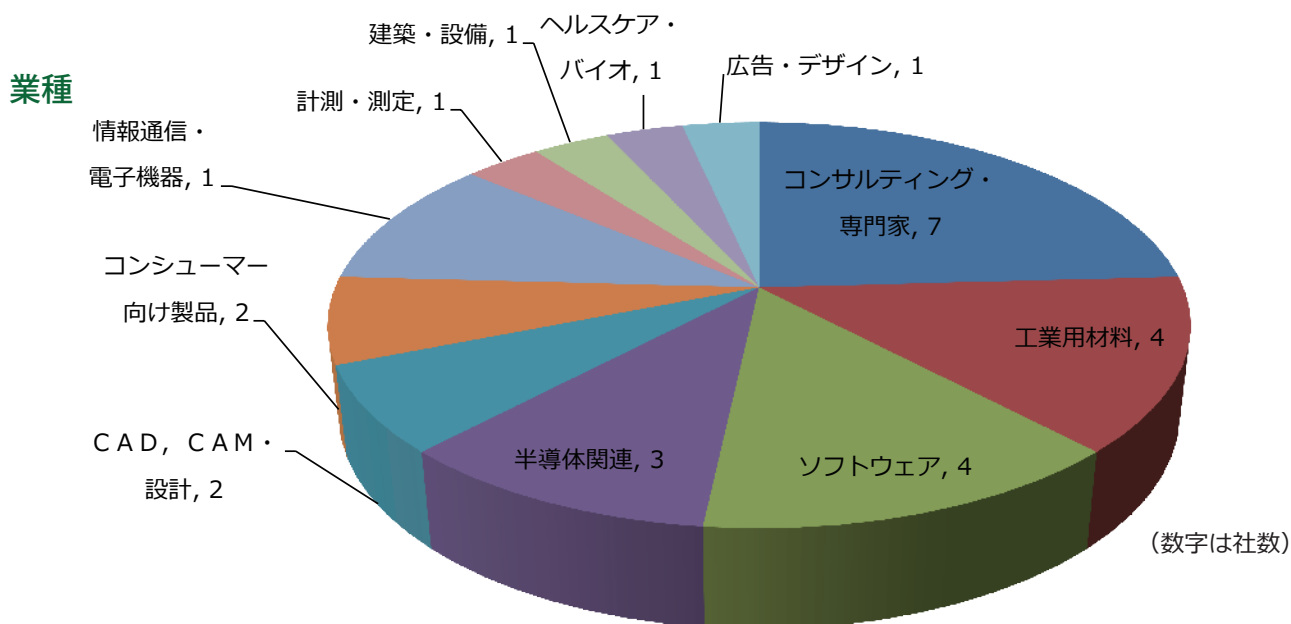
入居率 (賃料ベース)



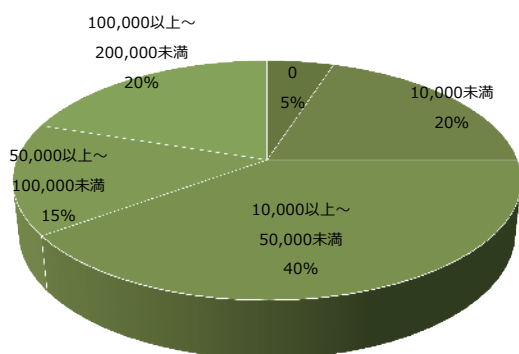
1-1-2

S I C - 1

入居企業データ (平成 26 年 11 月 1 日調査時点)

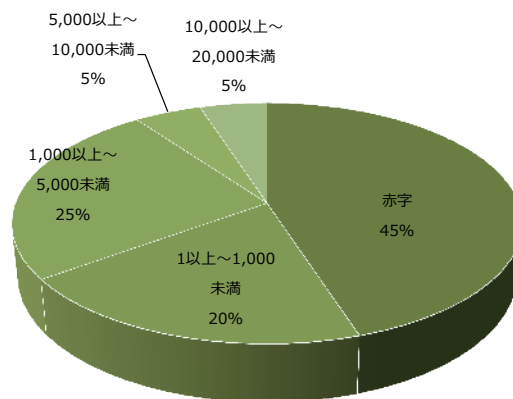


売上高



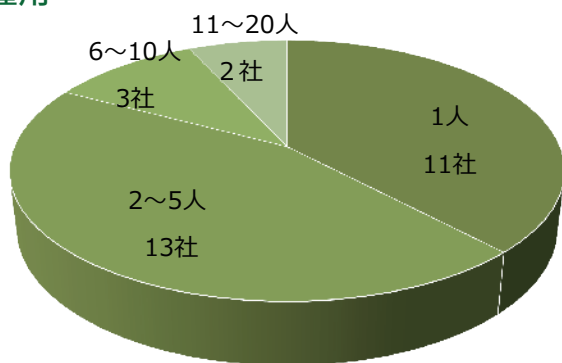
単位：千円

最終利益 (税引き後利益)

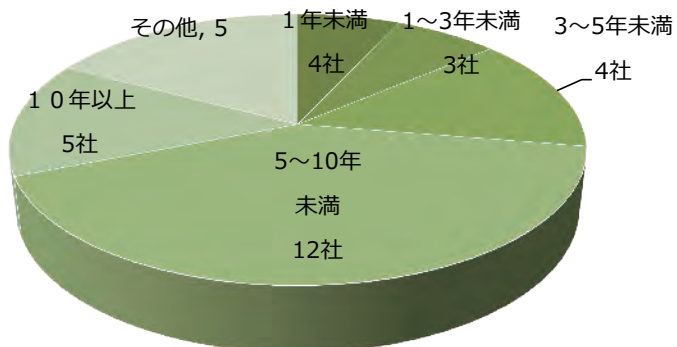


単位：千円

雇用



創業年数



売上高合計	913,799 千円
雇用者合計	29 社 92 人

1-2-1

SIC-2 (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

<企業>

- ・創業期を経てさらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・優れた技術・サービスを保有し、株式公開を目指す企業
- ・企業の研究開発部門

<産学連携企業等>

- ・産学連携による事業化を目指し、共同研究開発を行うとするグループ、企業、研究者等
- ・大学発の技術を活用し、事業化を目指すグループ、企業、研究者等
- ・大学研究室

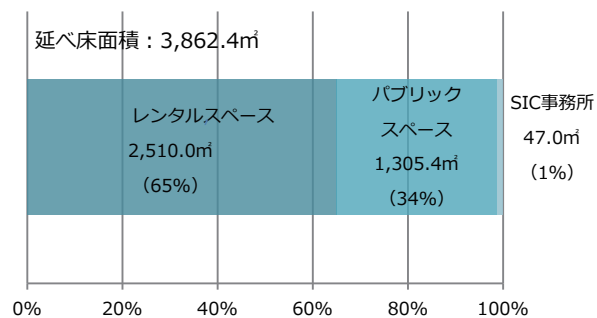


1 階平面図

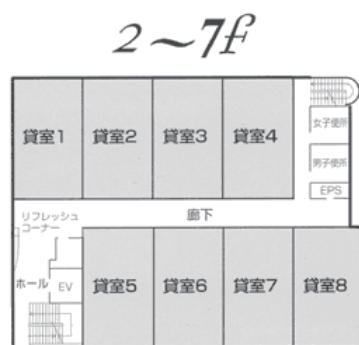
入居期間

期間制限なし

施設概要

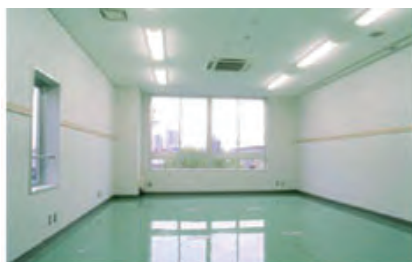
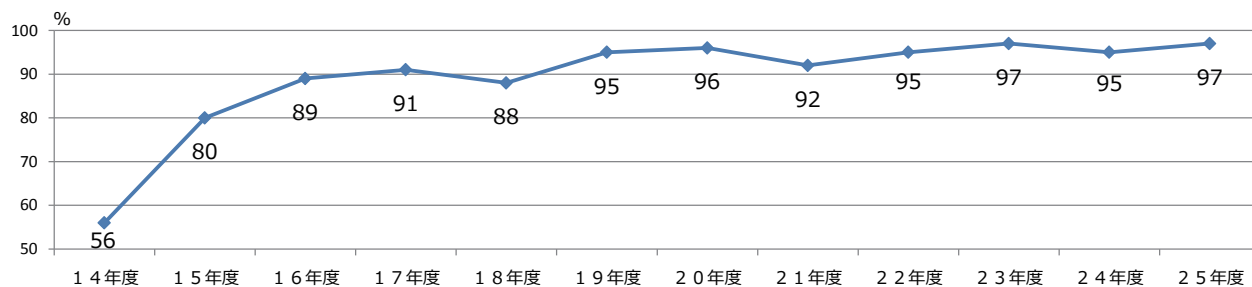


	セミラボ	オフィス
設置階	1～4 階	5～7 階
部屋数	26 室	24 室
床面積	50.2m ²	50.2m ²



2～7 階平面図

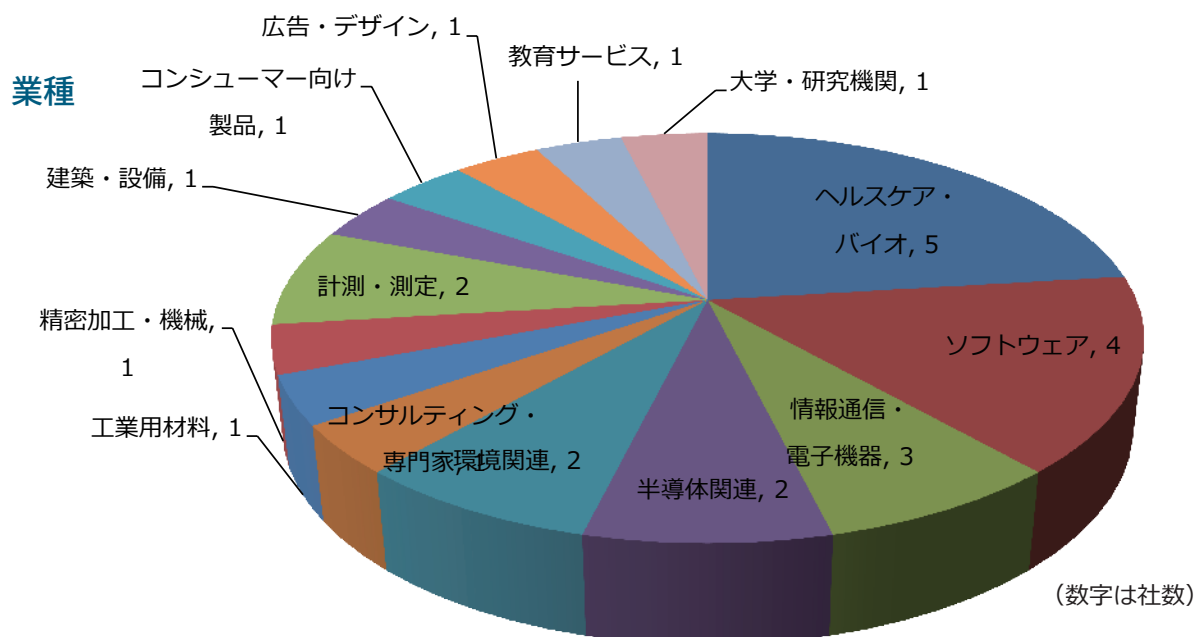
入居率 (賃料ベース)



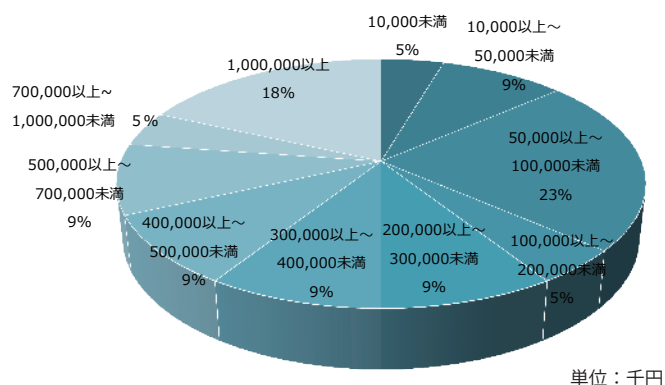
1-2-2

S I C - 2

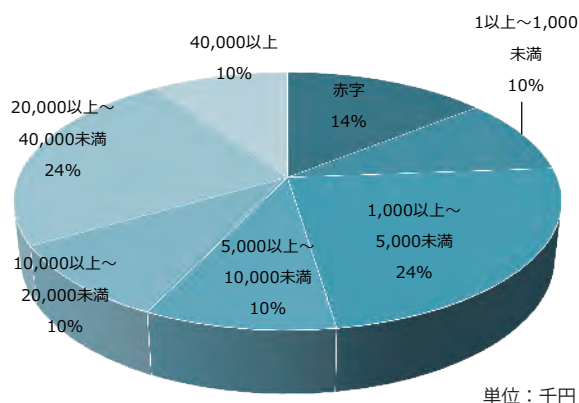
入居企業データ (平成 26 年 11 月 1 日調査時点)



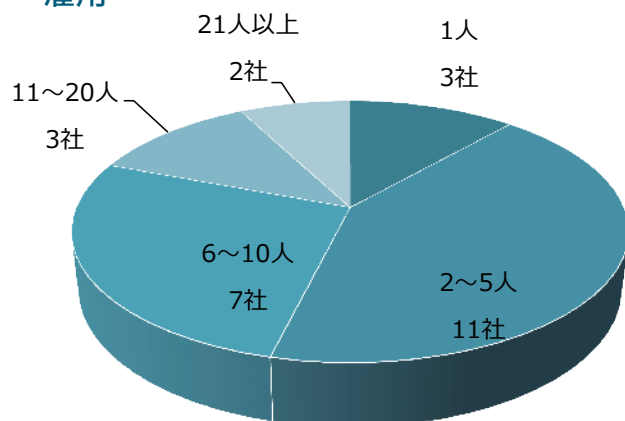
売上高



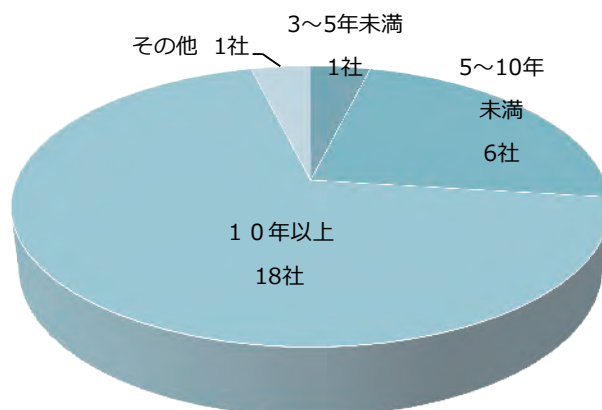
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計	36,664,392 千円
雇用者合計	26 社 176 人

1-3-1

SIC-3 (イノベーションラボ)

入居対象

＜企業＞

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、更なる規模拡大を目指す企業
- ・独創的な技術により、更なる規模拡大を目指す地域の中小起業

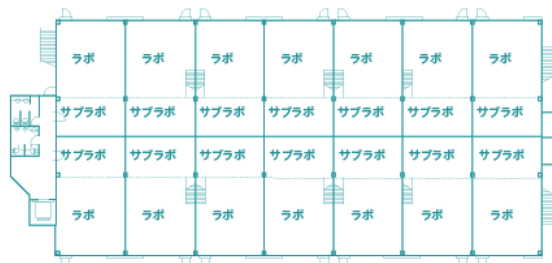
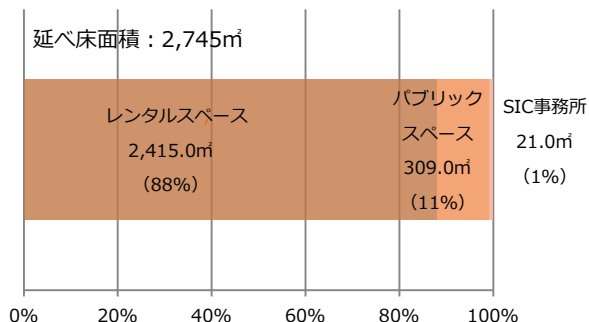
＜産学連携企業等＞

- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究開発を行うグループ

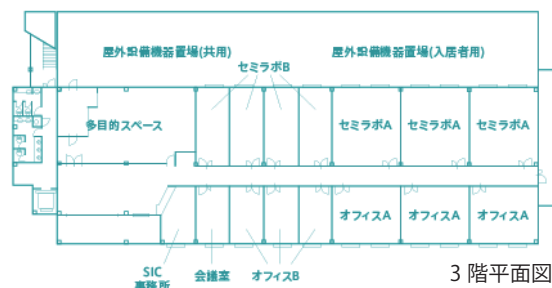
入居期間

5年間（再契約可能）

施設概要



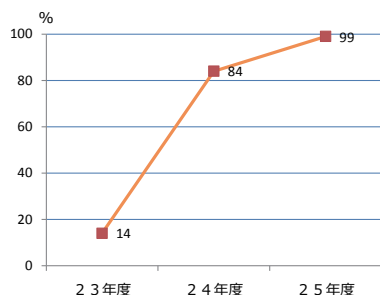
1階, 中2階平面図



3階平面図

	ラボ		セミラボA	セミラボB	オフィスA	オフィスB
設置階	1階 (中2階)			3階		
部屋数	14室		3室	4室	4室	4室
床面積	84m ²	28m ²	56m ²	28m ²	42m ²	21m ²

入居率 (賃料ベース)

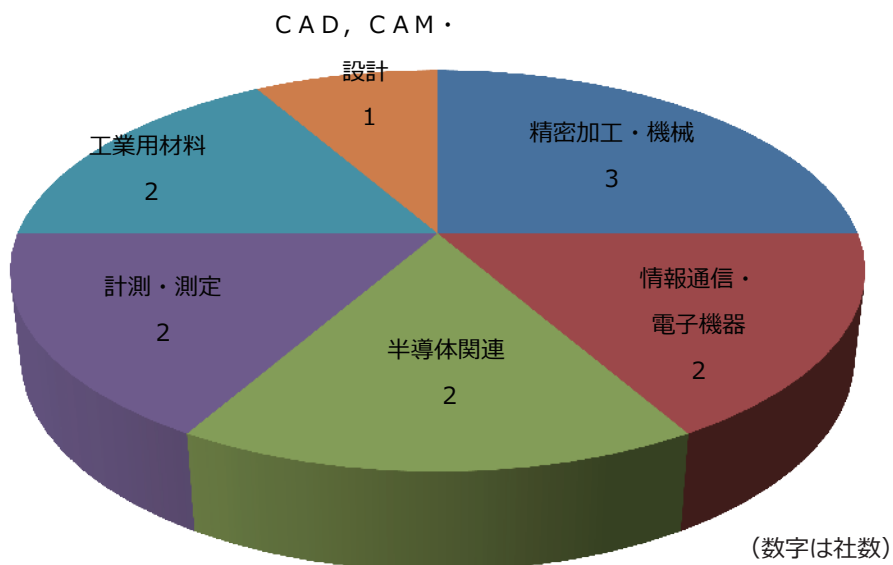


1-3-2

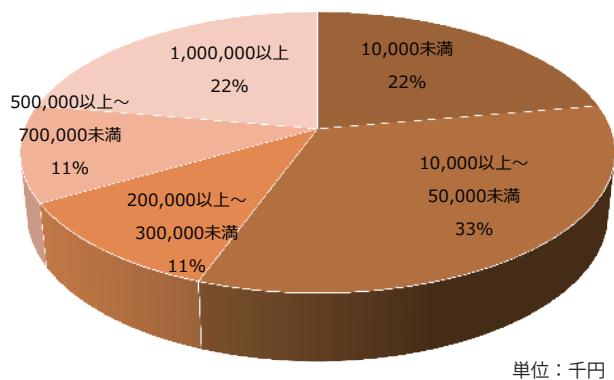
S I C - 3

入居企業データ（平成26年11月1日調査時点）

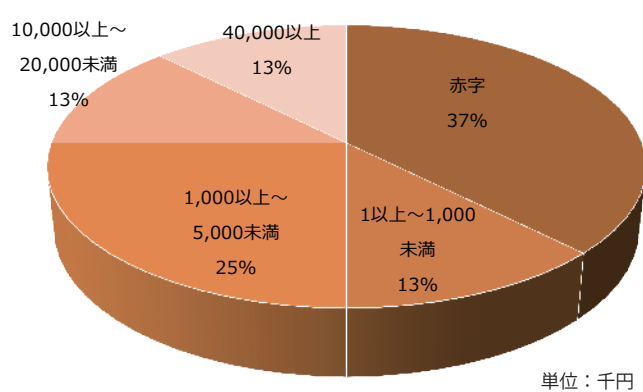
業種



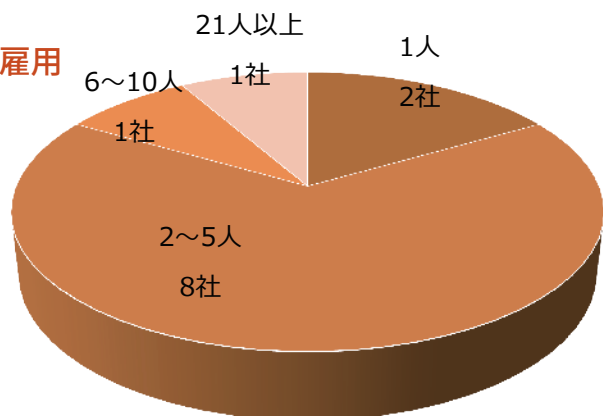
売上高



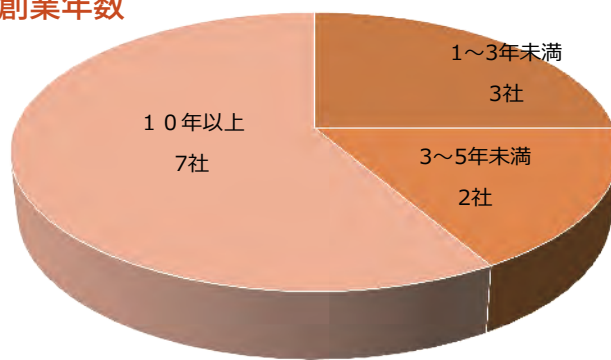
最終利益（税引き後利益）



雇用



創業年数



売上高合計	3,254,798 千円
雇用者合計	12 社 54 人

1-4

Desk⑩ (インキュベーション型シェアードオフィス)

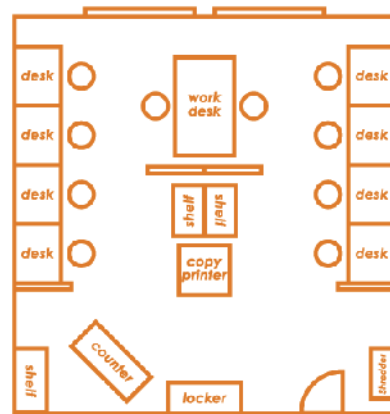
Desk⑩とは

Desk10（デスクテン）はビジネスに必要な機能を他の会員とシェアすることでオフィスがリーズナブルに利用できるいわゆる「レンタルオフィス」型サービスです。事務機器や会議室なども利用できて、住所使用も可能。しかも、サービスを提供するのは10年にわたりインキュベーション施設を運営しているSICで、経験豊富なインキュベーションマネージャーも常駐しています。

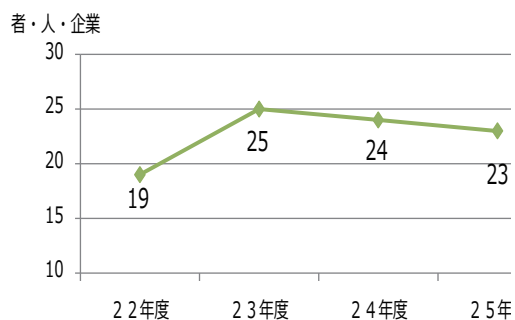
各種サービス

デスク（フリーアドレス）、ワークスペース、オフィス機器、住所使用、専用ロッカー、打ち合わせ・商談スペース、リフレッシュルーム、貸し会議室、秘書電話代行サービス

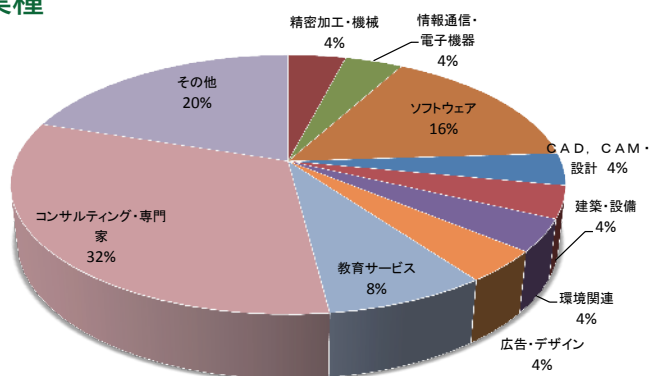
オフィス平面図



入居者数



業種

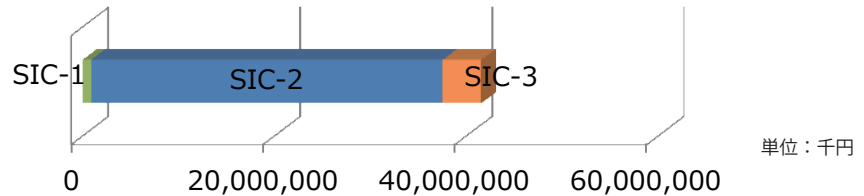


1-5

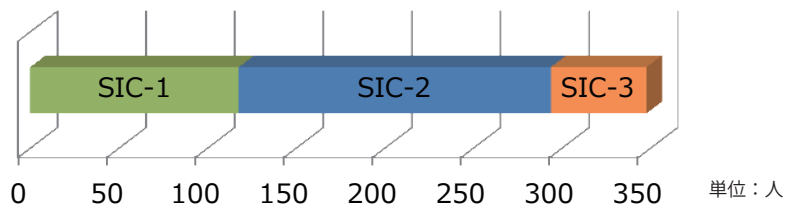
S I C 全体

入居企業データ (平成 26 年 11 月 1 日調査時点)

売上高 40,832,989 千円



雇用 348 名



知的財産 (平成 25 年度内)

	特 許		実 用 新 案		意 匠		商 標	
	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数
出願数	13	43	1	1	2	3	3	53
うち海外	7	18	0	0	1	1	2	42
権利化数	10	43	1	1	2	2	3	41
うち海外	5	22	0	0	1	1	2	33

研究開発補助金 (平成 25 年度内) 11 社 13 件

ものづくり産業基盤強化グループ支援事業、平成 24 年度ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等支援補助金、ものづくり補助金 (2 次公募)、エネルギー関連等ベンチャー事業化促進事業、戦略産業創造プロジェクト 試作開発補助金、宇宙オーブンラボ共同研究厚生労働科学研究費補助金、JST 復興促進、A-STEP ものづくり中小企業、中小企業研究開発補助金、

展示会出展 (平成 25 年度内) 20 社 43 件 (海外開催含む)

リーダーズサミット、日本香粧品学会、DC Expo、Wireless Japan、TOKYO ビジネス交流展 (東京都民銀行 2 月)、第 4 回化粧品開発展、センサーエキスポジャパン、Material Services Exhibition International、Bio Japan 2013、日本臨床獣医学フォーラム年次大会、テクノフロンティア、日本金属学会 (春季 / 秋季) 付設展示会、ナノ・マイクロビジネス展、エコオフィス・エコ工場展、2013NEW 環境展、IN-COSMOTICS ASIA、レーザー加工技術展、ALD2014、" 国際画像機器展 2013MEDTEC JAPAN"、SEMICON JAPAN 2013、GE Life Science Day 2013、WEST JAPAN VETERINARY FORUM、M-Tech 大阪、JPCA show 2014、びわ湖ビジネスメッセ 2013、第 14 回ビジネスフェア from TAMA、ナノマイクロビジネス展、MEDTEC Japan、医療機器産業会、アグロ・イノベーション 2013、画像センシング展、" 関西高機能プラスチック展メディカル&イメージング EXPO"

新製品・新サービス (平成 25 年度内) 11 社 21 件

ADC-0324B AD 変換機、ピュアガラスライト、新症例データベース、クロストグラム用データ処理ソフト ver5.0、プロデン・デンタル、ファイナルレ、YKKAP 内窓の営業展開、高圧・真空ハイパワー脱水機、パワー半導体用 SiC のレーザー切断装置、脳波アンプ ESAM648、NFC/PCB チェッカ (PC/ 無線通信)、SLG-150U 光ファイバー用光源、HP バリアフリーチェッカー、PC 用 x-y 記録ソフト ver1.2、ピギーサポートエナジー、ファイナルレ MD、フロルフェンコール NZ、スナップ PL、異音チェッカー (吸音マイク + MPU) 波形判定、植物育成用試作用光源特注サービス、発行・伝送・受光システムの OEM 受託

2-1

経営サポート

企業支援

事業の目的

創業や新分野進出に意欲的な入居企業や地域企業の様々な経営課題を解決する。

▶ 経営課題支援の内容

対 象：入居企業・地域企業

支援手法：インキュベーションマネージャーとメンター、アドバイザー、専門家等が連携した支援

協力機関：八千代銀行

支援契約数：業務委託契約 41 社、顧問契約 9 社

支 援 内 容		入居 企業数	地域 企業数	計
顧問契約		4 社	5 社	9 社
業務委託契約	補助金申請	6 社	4 社	10 社
	W E B 製作	—	5 社	5 社
	ビジネスマッチング	1 社	3 社	4 社
	会社案内等資料作成	—	3 社	3 社
	特許・商標	2 社	1 社	3 社
	海外展開	2 社	1 社	3 社
	カイゼン活動	—	3 社	3 社
	人材育成	—	3 社	3 社
	事務補助	2 社	—	2 社
	商品パッケージデザイン	—	2 社	2 社
	販路開拓	1 社	—	1 社
	共同研究	—	1 社	1 社
	P R 活動	—	1 社	1 社
	計	14 社	27 社	41 社

2-2

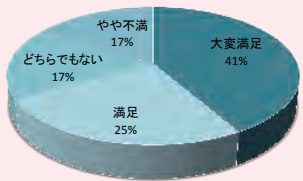
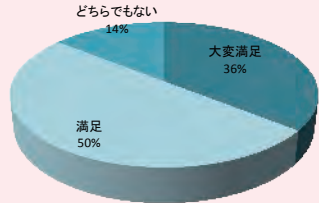
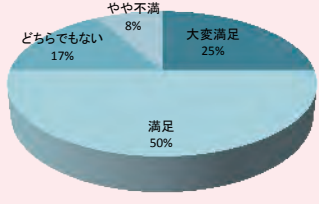
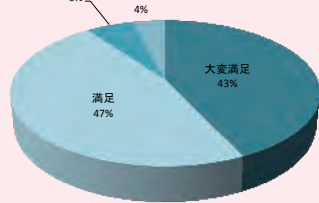
経営サポート

セミナーの開催

事業の目的

入居企業や地域企業の経営のヒントを提供する。

対 象：入居企業・地域企業

実施事業	参加人数	具 体 的 内 容
ミニセミナー	15 名	The HINT 9 テーマ「新興国進出の留意点と成功・失敗事例のご紹介」 「モノづくり企業の技術評価のポイント」（個別相談会併催） 講師：日本貿易振興機構、日本政策金融公庫 日時・場所：2013 年 9 月 17 日（火） さがみはら産業創造センター 
	15 名	The HINT 10 テーマ「試算表は、ここだけ押さえろ」（個別相談会併催） 講師：天野俊裕税理士事務所 代表 天野 俊裕 氏 日時・場所：2013 年 11 月 20 日（水） さがみはら産業創造センター 
	16 名	The HINT11 テーマ「企業間取引での契約書のチェックポイント」（個別相談会併催） 講師：弁護士法人高瀬総合法律事務所 代表 高瀬 芳明 氏 日時・場所：2014 年 3 月 25 日（火） さがみはら産業創造センター 
経営者セミナー	90 名	テーマ「シリコンバレーから見た日本型ベンチャーの成長戦略」 講師：曾我 弘 氏 KAPION Partners 代表 日時・場所：2013 年 9 月 24 日（火） 町田新産業創造センター 

2-3

技術開発

SIC 燃料電池研究会

事業の目的

燃料電池及び新エネルギー関連分野に係わる産学官連携や企業間連携体を構築し、研究開発成果の事業展開に向けたプロモーションを推進するとともに、展示会などへの出展や情報発信を行うことで、ビジネスチャンスの発掘と事業の拡大を図る。

事業概要

1. 家庭用燃料電池周辺機器開発プロジェクト

- 家庭用燃料電池『エネファーム』周辺機器開発やその他エネルギー及びシステムメーカーへのスペックイン（国内外関連企業との交流など）

2. 燃料電池システム開発プロジェクト（可搬型燃料電池システムの開発など）

- 100 ～ 500W クラスの研究会独自の燃料電池開発①②
- 高効率燃料（水素）供給システムの開発③

3. SIC低炭素プロジェクト

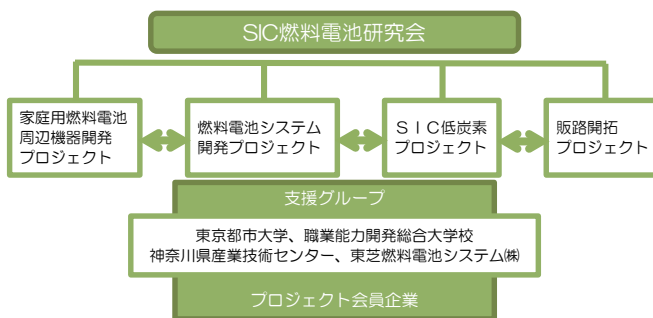
- 平成 21 年度経済産業省低炭素社会に向けた技術発掘
- 社会システム実証モデル事業の応用研究
- ソーラープロジェクトの活動

4. 販路開拓プロジェクト

- 研究会活動における開発成果や関連する自社製品を市場へと結びつける仕組みを検討。



研究会の構成



25年度の成果

今年度会員数：民間企業 12 社（38 名） 2 大学 1 公設試が参画
（H24 年度 13 社より 1 社退会，新規入会企業 1 社，11 社継続入会）

【プロジェクト成果】

- 平成 25 年度研究会活動概要説明会実施
- 第 1 回全体合同研究会活動実施
- ①可搬型燃料電池システム
- ②災害用飲料水供給システム試作
- ③ミニ水素ステーションの開発
- テクニカルショウヨコハマ 2014 への出展
- 2014 国際水素燃料電池展への出展
- 今年度成果課題抽出及び反省会実施

	大手企業	中小企業	大学・関係機関
市内	2	5	1
市外	4	1	2

2-4

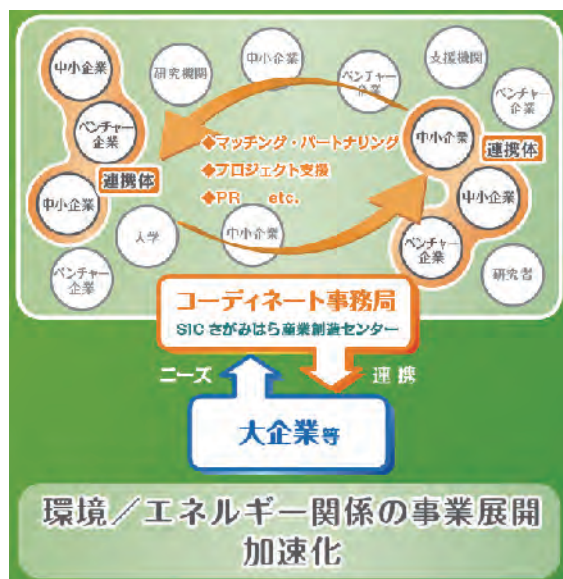
技術開発

かながわ環境関連産業ネットワーク事業

事業の目的

環境関連産業の多様な担い手が、自主的に参加できる新たなネットワークを構築し、専門コーディネータによる起業・事業化支援策の紹介やビジネスマッチングなど、様々な取り組みを総合的に展開することにより、環境関連産業の更なる振興を図る。

 事業概念



 活動概要

H23 年度より神奈川県内外より広く募集している、かながわ環境
関連産業ネットワーク会員から、関連するものづくり開発テーマ
を募集し、以下クローズな発表会やグループミーティングなどに
て有力候補を絞り込み、共同開発プロジェクトの組成・公的資金
申請を計画し、実施した。



▶ 25年度の成果

- ネットワーク会員 104 名（昨年度 78 名）を確保。昨年度から 26 名の増員となった。
- 第 3 回 創・蓄・省エネフォーラム 事業化促進発表会として、かながわ環境関連産業ネットワーク会員
提案会（非公開）の開催。参加者 31 名 提案件数 6 テーマ。
- 第 4 回 創・蓄・省エネフォーラム（参加者 43 名）
「創エネ・蓄エネ・省エネの可視化を目指すスマートハウス。HEMS(ECHONET Lite) 認証支援センターの紹介」
講師：神奈川工科大学 創造工学部 ホームエレクトロニクス開発学科 工学博士 一色 正男氏
「新エネの普及に挑戦！！小水力発電の魅力と事例報告」講師：神奈川工科大学 副学長・理事 森 武昭氏
- 第 5 回 創・蓄・省エネフォーラムにて（参加者 58 名）
「産業用機器向けリチウムイオン電池製品の開発、および各種性能評価」
講師：大和製缶株式会社 技術管理部新規事業室 グループリーダー 有馬 理仁氏
「燃料電池の魅力とその普及に向けた燃料電池開発所情報センターの取組」
講師：燃料電池開発情報センター 常任理事 吉武 優氏
「材料が切り開くこれからの燃料電池と水素社会」
講師：横浜国立大学グリーン水素研究センター特任教授 太田 健一郎氏
- テクニカルショウヨコハマ 2014 出展

2-5

技術開発

さがみはら表面技術研究所

事業の目的

地域企業と大学・研究機関の連携・交流機能を整備・運用し、企業の技術的な強みを活かした事業開発に貢献する。

活動実績

	活動内容	件数
1	技術相談・コーディネート・委託業務等	125
2	技術交流会・イベント開催	10
3	広報活動（講演・新聞等メディア掲載）	20
4	研究活動	4
	合 計	159



活動実績 事例

1. 技術相談・コーディネート・委託業務等

①東北大学流体科学研究所と共同研究を行い成果について発表を行った。Tenth International Conference on Flow Dynamics「Quantum Molecular Analysis For The Deposition Process of SiC Substrate」．次年度も継続して産学官連携のコラボレーションにより実施の予定。ものづくり中小企業・小規模事業者試作開発等補助金に係る補助金（平成 24 年度補正・中小企業庁）では、各中小企業向けに申請書の作成支援、採択後は事業開発のアドバイスや推進のサポートを行った。

支援した企業は、化学工業・電子部品・理化学機器・機械製造会社など多岐にわたり、定期的に年間を通して技術アドバイス等を行った。

②相模原市新技術実用化コンソーシアム形成支援事業「表面形状を制御した医療用機能部品の要素開発」では産業支援機関として事業管理を担当した。（相模原市の委託業務）実用化の目途が立ち、事業終了後も製造販売に向けた農水省向けの許認可資料作成等で寄与する。

③「地熱発電技術研究開発 / 低温域の地熱資源活用のための小型バイナリー発電システムの開発 / 温泉の蒸気と温水を有効活用し、腐食・スケール対策を施したハイブリッド型小規模発電システムの開発」（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）では、再委託先として、スケールおよび腐食性ガスの調査等を担当した。



2. 技術交流会・イベント開催

各種事業や協力機関として関係の深い顧客・共同研究者・装置メーカーらを技術交流会に招き大小含め 10 回開催した。テーマを決め、技術や事業紹介の後に、各人が忌憚なく意見を言える場を作っている。別事業の子どもワークショップの 1 テーマとして、理科教育やものづくりへの興味を抱かせるようなイベントも実施した。



3. 広報活動（講演・新聞等メディア掲載）

相模原市内や東京都内各地での任意団体、神奈川県産業技術センター内で実施される中小企業交流会等にて、定期的に講演を行い広報活動各組織との交流を図った。FMさがみのラジオ番組では、相模原中央区の地域的な工業の特徴とともに当所の活動紹介を行った。



4. 研究活動

東北大学流体科学研究所と共同研究を行い成果について発表を行った。Tenth International Conference on Flow Dynamics「Quantum Molecular Analysis For The Deposition Process of SiC Substrate」．次年度も継続して産学官連携のコラボレーションにより実施の予定。

2-6-1

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業（フォーラム）

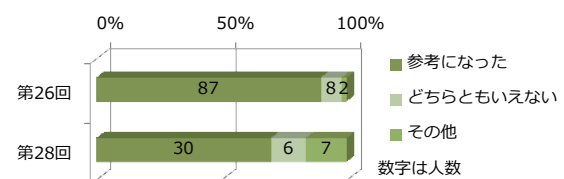
事業の目的

相模原市を中心とした神奈川県県央地域及び町田市、八王子市に広がる首都圏南西地域において、企業・大学・研究機関、金融機関及び支援機関の広域連携の場として首都圏南西地域産業活性化フォーラムを開催し、さらには、産学官連携による分科会・研究会の推進や情報提供を通じ、新事業の創出や技術の高度化などによる地域産業の活性化を目指す。

参加者数

南西フォーラム	
第 26 回	192 名
第 28 回	77 名
計	269 名

顧客満足度



顧客の声

- ・現在の開発中の案件にプラスになりました。
- ・ロボットに関する色々な情報が得られてよかった。
- ・ご紹介いただいている様な研究関連の紹介を継続的に知りたい。
- ・是非、このフォーラムを発展させて、ビジネスマッチングへの実効を期待しています。



概要

開催日		内容
南西フォーラム	第 26 回 平成 25 年 7 月 9 日	ロボット関連産業への参入機会を考える
		○「さがみロボット産業特区について」 神奈川県 産業労働局 産業・エネルギー部 産業振興課長 高澤幸夫 氏
		○「次世代ロボットの研究開発動向について」 (独) 産業技術総合研究所 知能システム研究部門 研究部門長 比留川博久 氏
		○「建設機械を基軸にしたロボット関連製品開発の実例」 マルマテクニカ株式会社 相模原事業所 開発技術部 飯塚祐一郎 氏
		○「大学等でのロボット関連研究のご紹介」 青山学院大学 / 神奈川工科大学 / 東京工業高等専門学校 / サレジオ工業高等専門学校
	第 28 回 平成 26 年 3 月 3 日	ロボットを活用したライフ＆ヘルスサイエンス業界へのビジネス展開を考える
		○「生活支援・介護支援ロボットの実用化・普及へ向けた研究開発動向」
		(独) 産業技術総合研究所 知能システム研究部門 サービスロボティクス研究グループ 研究グループ長 松本 吉央 氏
		○「総合試作企業の介護・医療機器開発への取り組みについて」 株式会社 菊池製作所 執行役 副社長 一柳 健 氏
		○「神奈川工科大学における福祉・介護機器開発への取り組み」
		神奈川工科大学 創造工学部 ロボット・メカトロニクス学科 教授 河原崎 徳之 氏

※第 27 回は、2-15 24 ページに掲載

2-6-2

技術開発

首都圏南西地域連携サポート事業（分科会）

事業の目的

相模原市を中心とした神奈川県県央地域及び町田市、八王子市に広がる首都圏南西地域において、企業、大学・研究機関、金融機関及び支援機関の広域連携の場として首都圏南西地域産業活性化フォーラムを開催し、さらには、産学官連携による分科会・研究会の推進や情報提供を通じ、新事業の創出や技術の高度化などによる地域産業の活性化を目指す。

参加者数

宇宙科学研究会		ロボットビジネス研究会		業務用アプリ研究会	
第4回	39名	第1回	61名	第1回	26名
第5回	31名	第2回	37名	第2回	23名
第6回	34名	第3回	48名	第3回	26名
		第4回	19名	第4回	25名
計	104名	計	165名	計	100名

開催日		内容
宇宙科学研究会	第4回 平成25年12月17日	赤外線天文衛星 SPICA に向けたコロナグラフ光学装置の開発
	第5回 平成26年1月28日	太陽発電衛星の実現を目指して～無線エネルギー伝送技術に関する研究～
	第6回 平成26年3月28日	宇宙ロボット開発のすすめ
ロボットビジネス研究会	第1回 平成25年10月28日	中小企業工場が安価に導入できる産業用ロボット市場の今後について グローウィング（株）のロボット研究開発の実際
	第2回 平成25年11月27日	ロボット工学研究室の最近の研究成果について 次世代ロボット「NEXTAGE」について
	第3回 平成26年2月5日	パワーアシストハンドの研究と中小企業との共同研究について 福祉用具・介護ロボットの実用化状況と新規参入可能性を探る
	第4回 平成26年3月18日	川田工業（株）ロボティクス事業部実機見学と意見交換
	第1回 平成25年7月16日	事例紹介「救急隊員向けの支援システム」（株）ハイスポット 「大学教育におけるスマートフォンの活用とライフスタイル」 青山学院大学 情報学部 「デジタルサイネージを利用した商店街活性化の提案」 アイ・ティー・シーネットワーク（株）
業務用アプリ研究会	第2回 平成25年10月1日	「File Maker を活用した安価な DB システムの構築事例について」 I T コーディネータ多摩協議会 「中小企業のタブレット・スマートフォン活用支援セミナー」について
	第3回 平成25年11月28日	事例紹介 富士通（株）、（株）東京システム技研
	第4回 平成26年3月27日	事例紹介 I T コーディネータ多摩協議会、コネクシオ（株）、富士通（株）

2-7

技術開発

SIC 協創プロジェクト

事業の目的

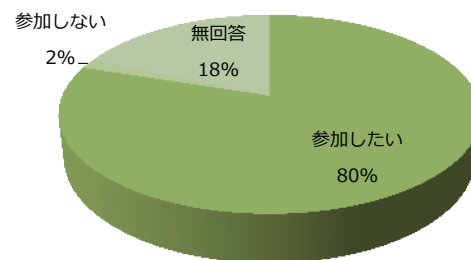
業種や環境の異なる「企業と企業」「人と人」「技術と技術」の新たな出会いを模索しながら、単独では難しい新分野進出、新製品の開発に企業連携で取り組む。

▶ 交流会参加者数

89 名 66 社



▶ 顧客満足度（次回交流会・懇親会への参加の是非）



▶ 交流会・ワーキンググループ（以下WG）の年間活動概要

● 交 流 会 ●

開催日 平成 25 年 8 月 6 日

概 要 近隣企業との交流を深めることにより、企業間連携での新たなプロジェクト発足を目指す。

● ワーキンググループ ●

「LED光」WG開催概要 13 回のWG会議開催

【テーマ】 光を使ったセキュリティ関連商品の開発を模索

「光」をテーマに、「近赤外線を活用した暖房装置」や「光を活用したセキュリティ商品」の開発を模索した。どちらも技術的問題点をクリアする事が出来ずに商品化へと辿り着くことはできなかったが、参画企業間での新たなネットワークが形成された。

「水」WG開催概要 5 回のWG会議開催

【テーマ】 汚染水浄化システムの開発

H24 年度の交流会で、A 社より水浄化剤（凝集剤）を用いた浄化装置の開発について発表があり、興味を持った B 社が参画したプロジェクトである。2 社の技術を持ち寄り、新しい浄化装置を作り出すことを目的として活動し、試作の段階まで到達した。

「紙」WG開催概要 13 回のWG会議開催

【テーマ】 リニア式角紙管を活用した製品開発

C 社の「角紙管」を利用した新製品開発を目指し、「紙の技術」×「異業種の技術」を組み合わせることで、新製品を生み出していく事を目的とした。ブレインストーミングを繰り返し行い、アイデア創出を行い実現性を模索し、商品化の最終段階まで到達した。

2-8

人材育成

SIC 経営塾

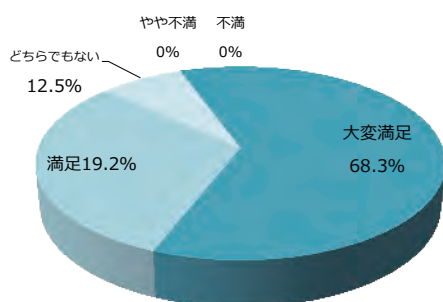
事業の目的

先端的なケーススタディを通じ、経営の理論と実践を学び、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的としています。

▶ 受講生

- ・ 13名 累計 109名
- ・ 次世代の経営者や経営幹部の受講生が多い

▶ 顧客満足度



▶ 顧客の声

- ・ 内容がわかりやすく、多数の情報提供、異業種の内情など、とても興味深く面白かった。
- ・ 中期経営計画の立案についてたいへん悩みました。しかし、その重要性が理解できました。
- ・ 外部の企業の問題や課題を同じ視線で共有出来たのは良かった。
- ・ 長い間、大変勉強させて頂き、ありがとうございました。自分の未熟さがよく分かりました。もう一度事業計画を見直し、先のことを考えてみるつもりです。
- ・ 最後の発表の為にまとめてみて理解が深まった気がします。今回の指摘を受け改善し、また、経営塾を続けて行きたい所です。終わってしまった残念です。
- ・ 自分の会社を客観的に見て、事業計画を作っていく過程で、志・夢を持つことができ、今後仕事をして行く上での糧になったと感じています。

▶ 活動内容

講義

最先端の経営理論を学びます。

- 先端企業経営者の実体験や様々な先進的な取り組み事例を通して最新の経営理論と実例を学び、自社の課題に置き換えて検証します。



討論

塾生、コーディネータとの討議を重視します。

- 課題図書、事例研究を基に、異業種の方との討論が自社を見つめ直し、自社の事業構想を構築する良い機会となるでしょう。



事業構想の再構築

最終ゴールは自社の事業構想の再構築です。

- 実証的な研究や討論を通し、自社を客観的に見つめ直し事業構想を策定し、自社における「NEXT STAGE」を考えます。



■カリキュラム:

回	課題シート・講義内容
1	オリエンテーション
2-3	わが社の経営の現状を語る(1泊2日合宿)
4	現状を分析する
5	存在意義を問う
6	コアコンピタンスを定義する
7	戦略シナリオを考える
8	財務構造を改善する
9	組織文化の変革を仕掛ける
10	ビジネスプランを練り上げる
11	わが社の経営の将来を語る(自社の事業構想の発表)

2-9

人材育成

SIC 職場リーダー養成塾

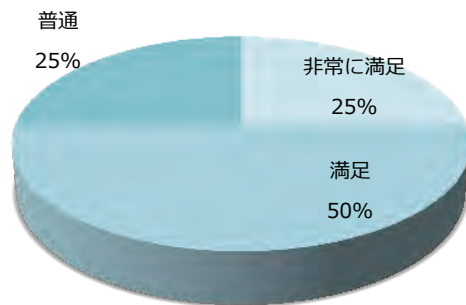
事業の目的

地域企業の様々な職場リーダーとの他流試合を通じてコミュニケーション力と課題解決力を養う。

▶ 受講生

12 名 累計 107 名

▶ 顧客満足度



▶ 顧客の声

- ・他業種の方々の考えを聞くことができて、参考になった。
- ・自ら課題設定が出来たので、現在困っていることに取り組めた。
- ・コミュニケーション術や課題解決を学び、自分には出来ないと思っていたこともやれば出来ると感じた。
- ・部下との接し方が今まで良くなかったことを教えてもらった。改善してゆきたい。

▶ 受講生の年齢構成



▶ カリキュラム

	開催日	内容
1	平成 25 年 6 月 28 日	オリエンテーション
2	平成 25 年 6 月 29 日	職場のコミュニケーション① (コーチングトレーニング)
3	平成 25 年 7 月 17 日	目指すリーダー像を明確にする
4	平成 25 年 8 月 7 日	職場の課題を抽出する
5	平成 25 年 9 月 3 日	職場の課題解決① (課題・目標設定)
6	平成 25 年 9 月 18 日	職場の課題解決② (対策検討、実行計画)
7	平成 25 年 10 月 2 日	職場のコミュニケーション② (モチベーション向上)
8	平成 25 年 10 月上旬～11 月下旬	課題解決に向けた対策を実践
9	平成 25 年 12 月 6 日	成果発表会



2-10

人材育成

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業

事業の目的

小学生を対象に初めて出会う仲間と会社設立から決算までの起業のプロセスを疑似体験することで以下のようなことを学ぶ。

1. 会社や経済の仕組みを知る
2. 失敗を恐れずに挑戦できる心を養う
3. 自分の考えで行動できる力を養う
4. チームワークの大切さを知る
5. お金の大切さを実感する

参加者数

48 名 累計 523 名

顧客満足度

仕事に対する意識が変わった	91%
お金に対するイメージが変わった	91%
将来自分で会社を作りたい	30%
保護者アンケート 非常に満足	88%
満足	12%

事業概要

参加者の声

- ・仕事は大変だったけど、終わった時の達成感がよかった。
- ・私が今、笑顔で生活しているのもお母さんのおかげだから、今まで以上に「ありがとう」と思った。
- ・お母さん、お父さんが働いて貰ったお金だから、大切に使うという気持ちに変わった。

<保護者の声>

- ・成長して帰ってきました。何よりも「楽しかった」と思ったようで良かった。事業をこれからも続けていくことを期待しています。

		開催日	内容
子どもアントレ	1日目	平成 25 年 8 月 14 日	・会社設立 ・商品決定 ・マーケティング講義
	2日目	平成 25 年 8 月 16 日	・事業計画書作成 ・融資交渉
	3日目	平成 25 年 8 月 17 日	・材料仕入れ ・商品製造
	4日目	平成 25 年 8 月 18 日	・販売 ・決算 ・返済 ・振り返り ・修了式



2-11

人材育成

SIC アントレ・インターンシップ

事業の目的

さがみはら子どもアントレプレナー体験事業の企画運営を通して、『既成の固定概念に捉われることなく、新たな領域に、自ら考え出したアイデアで、失敗を恐れずに挑戦する気概に溢れた人材』とは何かを理解するとともに、実社会において社会人とはどうあるべきかを学ぶ。

参加者数

13名 累計 107名

顧客満足度



インターンシップ参加者の声

- ・ぜひ、多くの人に参加してほしいです。参加する際は、本気と覚悟がなければ成功しない。
- ・自分の出来ること、出来ないこと、仕事への向き合い方など…費やした時間以上に多くの事を学びました。
- ・新しい仲間に出会えたり、新しい自分を発見できたり、と得るものが大きいです。
- ・頑張れば自分の成長につながります。成長につながるアントレに是非チャレンジしてみてください。
- ・きっかけは何でも大丈夫です。とにかく挑戦してみてください。
- ・私には何の夢もなく、これまで大学生活をちゃらんぽらんに遊んで過ごしてきました。しかし、このインターンシップに出会い、「今、自分はいったい何をしたらいいのか？」などということが自分で考え判断することができるようになりました。
- ・他のインターンでは絶対得られないものがここにはあります！
- ・自分がどれくらい頑張れるのか試せて、本当に貴重な体験ができた。迷うくらいなら参加した方がいいと自信を持って言えるインターンです。

事業概要

毎年8月に開催する「さがみはら子どもアントレプレナー体験事業」の企画運営を大学生が中心となって行うものです。

	開催日	内容	概要
1	平成25年5月26日	キックオフ	経営者講演、ビジネスマナー研修
2	平成25年6月2日	コミュニケーション研修	受講生同士のコミュニケーション促進やチームワークの強化方法について学ぶ
3	平成25年6月～8月	企画・準備	企画、準備を行う
4	平成25年7月21日	コーチング研修	「子ども達の考えや思いの引き出し方」について学ぶ
5	平成25年8月14日、16日～18	子どもアントレ（小学生対象）	小学生に会社経営の疑似体験プログラムを提供する
6	平成25年10月4日	アントレ実施結果報告修了式	アントレの実施結果を報告



2-12

人材育成

地域産業界の人づくり支援事業

事業の目的

地域企業と大学・学生の効果的なマッチングを模索し、ものづくり企業の人材採用のサポート及び地域中小企業のPR活動を行うことで、地元への定着を促進する。また、子ども達が「ものづくり」に触れ、「ものづくり」の楽しさや大切さを知る機会を提供する。



地域密着型求人サイト「サガツクナビ」

企業、大学就職課、学生の間で採用情報を循環させる為のサイトを構築中
企業掲載申込件数 58件 URL: <http://sagatukunavi.com/>



企業見学会

対象者：相模原市近隣の大学の就職課担当者

プログラム：会社説明、工場見学、経営者との意見交換

第一回 平成25年9月26日 参加者 10大学・12名、
訪問先企業 マルマテクニカ（株）

第二回 平成25年11月11日 参加者8大学・9名
訪問先企業 ワッティ（株）、シノテスト（株）



企業と学生の交流会「ジョブトーク」

日時：平成25年2月24日

場所：サン・エールさがみはら 第一研修室

参加者：企業19社、大学11校・23名



女性向け仕事力UPセミナー

	開催日	内容
1	平成25年12月2日	『モチベーションUPセミナー①』（株）ジェイティービーモチベーションズ
2	平成25年12月10日	『モチベーションUPセミナー②』（株）ジェイティービーモチベーションズ
3	平成26年1月15日	『パフォーマンスUPセミナー』 NPO法人 M's Kitchen



子どもワークショップ

	開催日	内容
1	平成25年7月27日	『親子でつくろう！カードケース&チャーム』 くらげ雑貨店、Atelier Z=Grace
2	平成25年8月24日	『音のセンサーで走る！オリジナルマイカー』（株）シンフォディア・フィル
3	平成25年9月14日	『日本一のヘアゴム工場！ミサンガ&ストラップ』（株）イノウエ
4	平成25年10月12日	『音の不思議を体感しよう！マイスピーカー』（株）さがみはら産業創造センター
5	平成25年12月14日	『科学研究所を見学&わくわく入浴剤作り』（株）ジャパン・アドバンスト・ケミカルズ
6	平成26年1月25日	『体験！はんだごて ライントレーサー作り！』（株）タクマ精工
7	平成26年3月8日	『親子でつくろう！ドライフラワー』 日本化工機材（株）

2-13

資金調達

SIC1 号投資事業有限責任組合

事業の目的

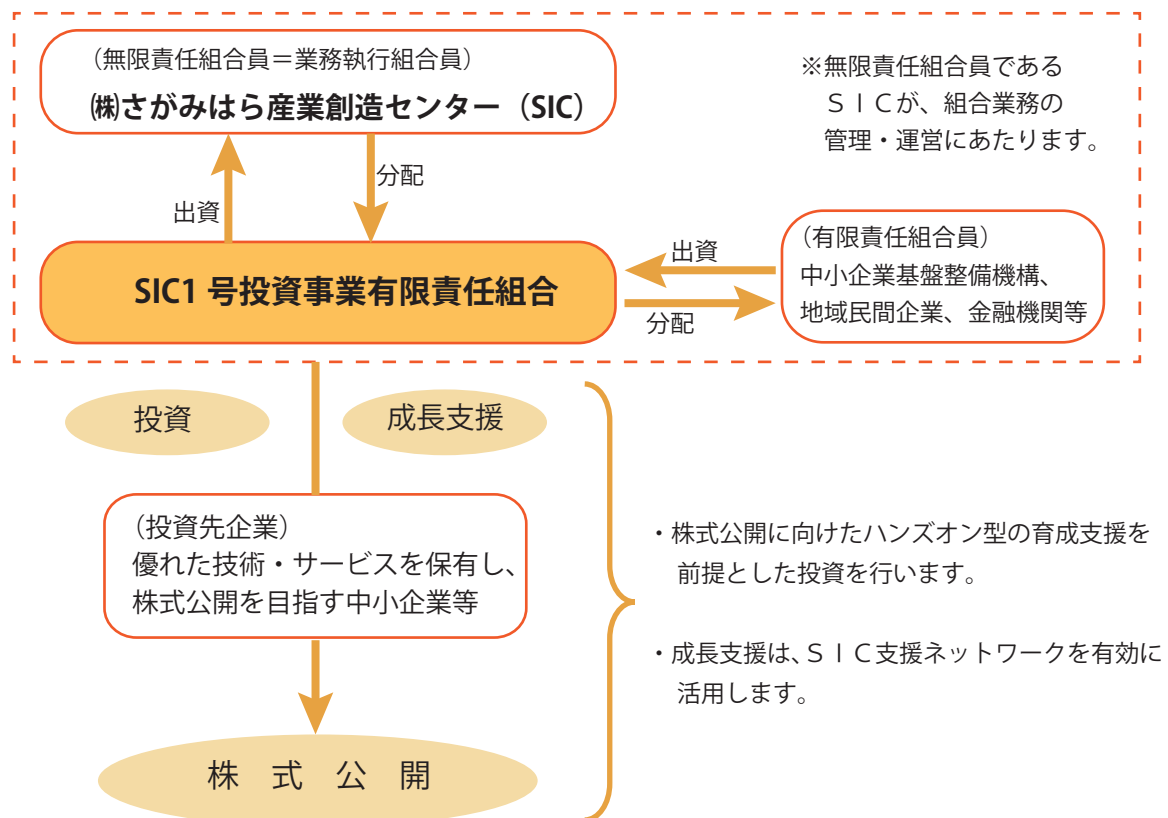
- ・S I C の金融支援サービス機能の強化（ハンズオン型企業成長支援の確立）

▶ 投資先企業

地域（投資時）		設立年月（投資時）		現在の状況（26 年 3 月末）	
SIC 入居企業	6 社	設立 7 年未満	11 社	保有継続企業	4 社
神奈川県	1 社	その他	0 社	回収済企業	4 社
東京都	4 社			未回収企業	3 社
計	11 社	計	11 社	計	11 社

▶ 内容

- ・平成 17 年 11 月に 5 億円のファンドを組成
- ・現時点までに設立 7 年未満のアーリーステージの企業 11 社に 344 百万円を投資実行
- ・ファンドの満期（平成 27 年 10 月）を見据えて、投資先企業の成長支援を継続するとともに、出口戦略を明確にし、投資回収に向けた交渉を行う。



2-14

販路開拓

台湾ビジネスサポート事業（海外販路開拓支援事業）

事業の目的

円高や国内市場の縮小を乗り越えて地域企業が持続的に発展するために海外展開をサポートする。特に、中国への足掛かりを有し、市場の成長性、電子業界の集積度、生産技術力が高く、産業のインフラが整っている「台湾」をターゲットとする。

事業概要

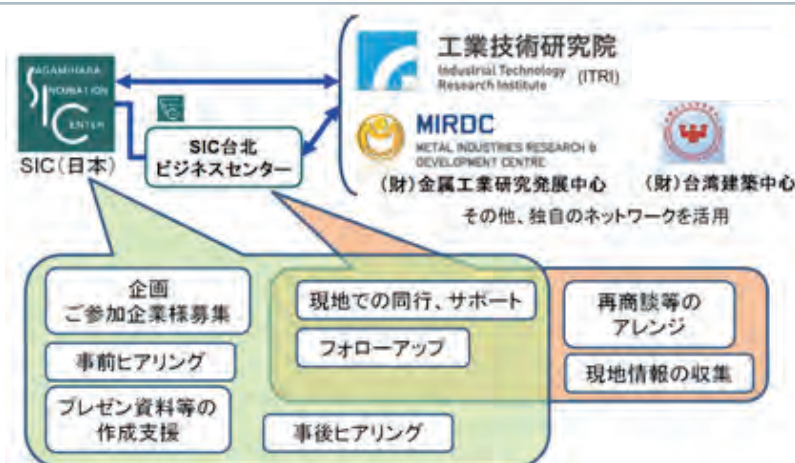
日 付	内 容	参 加 実 績
平成 25 年 9 月 25 日 ～ 30 日	第 4 回台湾ビジネスマッチング 於：台湾（台北） 「工業技術研究院との連携で、2013 年 台北国際発明展及びテクノマート見本市に 出展参加すると共に 9 月 27 日商談会を開催」	＜商談会＞ 7 社 19 面談 ＜展示会＞ 8 社 69 面談
平成 26 年 12 月 13 日	台湾環境関連製品発表会 於：東京（機械振興会館） 「台湾経済部緑色貿易推進室とともに台湾 環境製品の発表会を開催」	参加台湾企業数 8 社 来場者数 63 名
平成 26 年 3 月 13 日 ～ 14 日	日台環境・建築ビジネスマッチング 於：台湾（台北） 「台湾建築中心との連携で、台湾建築関連に ついての商談会や意見交換会を開催」	＜商談会＞ 5 社 35 面談

顧客の声

- ・受託開発やOEM生産、販路開拓など受発注先が見つかった。
- ・大手企業との提携を実現できた。
- ・海外現地法人を設立するきっかけづくりになった。
- ・素早い意思決定や行動力とそれを実現する組織づくりの重要性を知った。
- ・自社の技術や製品が海外でも十分に通用することが分かった。



運営体制



2-15

販路開拓

ビジネスマッチング（首都圏南西地域連携サポート事業）

事業の目的

製造業の空洞化などにより、従来の取引関係の構造が変わりつつある中、技術開発の新たな担い手と期待される南西地域の中小企業が自社の強みをアピールし、新しいパートナーシップを築く。

▶ 商談数と成果

マッチング（ニーズ企業 3 社に対する面談を実施）

当日面談件数	20 件
後日面談件数	5 件
計	25 件



受注に繋がった	1 件
見積書提出	0 件
サンプル処理を行い協業検討	1 件
中期的な観点での協業検討	6 件
計	8 件

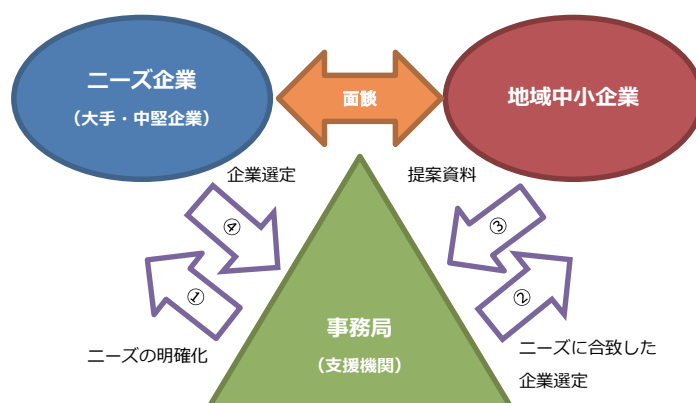
▶ 事業概要

地域中小企業が生き残りをかけて事業を進めるための方策として開催した第 27 回南西フォーラムでは、「ビジネスチャンスは身近な地域にある！！」をテーマに、地域内での大手・中堅企業と中小企業との協業を目指すために、今年度もより協業に至る成果を意識し「ビジネスマッチング事業」の取り組みを図った。

南西地域に集積するロボット関連技術（通信、制御、加工、省力化、自動化）やデバイス、製造技術、化学などの分野において、地域企業が技術をアピールし、新たなビジネスを生み出すきっかけ作りの場とした。

地域企業の発掘では、相模原市・相模原市産業振興財団・相模原商工会議所・まちだテクノパーク・地域金融機関などと連携し、いわゆる「相模原方式」を継続しニーズに合致した地域企業の選定を進めた。

面談日以降、ニーズ企業が再度地域企業の工場見学等を通じて、技術やサービスの強みが理解でき、協業を促進する再面談の場面をアレンジした。



<ニーズ企業>

- ・シークスエレクトロニクス(株)
- ・レキットベンキーザー・アジアパシフィック・リミテッド
- ・日本ゼオン(株)

<地域中小企業>

22 社

2-16

インキュベーションコンサルタント 運営サポート事業

事業の目的

新たにビジネスインキュベータを整備しようとする機関に対しS I Cが長年培ってきた企業支援、支援ネットワークの構築、施設運営、B I 経営に関する知識やノウハウを提供する。

▶ T-BISC(Tokyo business incubation support center) の整備、運営のサポート

【設立趣旨】

一般財団法人機械振興協会と全国の産業振興機関がコンソーシアムを結成し、地方のビジネスインキュベータに入居する創業間もない企業にシェアードタイプの東京活動拠点を提供するとともに産業振興機関が持つネットワークを活用し、国内外のビジネスマッチングを行う。



▶ MBDA(町田新産業創造センター) の運営サポート

【設立趣旨】

良好な交通アクセス、優れた市民文化、自然環境など多面的な町田市の魅力を活用した大都市近郊型の事業拠点として、意欲的な成長を目指す事業者に、調査、販路拡大、経営相談等の多面的な支援を行うことで、全国で活躍できる独創的・個性的な企業の創出を目指します。



2-17

その他

高度実践型人材育成事業

事業の目的

地域全体の経営支援力を強化するため、金融機関の研修生をSICが受け入れ、SICがこれまで培ってきた支援ノウハウの教授をOJTを中心に行った。

事業概要

平成25年度高度人材実践型支援人材育成事業（（独）中小企業基盤整備機構委託事業）として実施した。本事業は、SICのような支援ノウハウを有する機関に金融機関等から研修生を派遣することで、経営支援ノウハウを身に付けて頂く事業である。

SICが受入支援機関となり地域金融機関からの研修生を受け入れ、企業支援に関するスキルアップやネットワーク構築の支援につなげた。

研修プログラム

事業期間	平成25年6月10日～平成26年2月28日
事業実施機関	株式会社さがみはら産業創造センター
研修生の受け入れ	八千代銀行より2名

研修受け入れ

研修その①：総合経営支援人材育成プログラム

研修テーマ	成長志向のものづくり企業の支援ノウハウをその発掘から支援までを包括的に研修
具体的内容	「首都圏南西地域連携サポート」事業におけるフォーラム、個別企業支援を通して、支援機関の基礎的取り組みから個別支援ノウハウをトータル的に研修していただいた。

研修その②：新課題対応型経営支援人材育成プログラム

研修テーマ	新たな経営環境の変化（地域中小企業の新課題）に対応する海外販路支援等の支援ノウハウの研修
具体的内容	「台湾ビジネスサポート」事業におけるマッチング会、セミナー等開催の事業活動を通じて、海外展開を図る中小企業に対する対応ノウハウを研修していただいた。



3-1

さがみはら産業創造センターの歩み

1998 年度 (平成 10 年度)	検討会の提言…市内の若手経営者、相模原市などの若手スタッフによる検討会が相模原市にセンター整備を提言
1999 年度 (平成 11 年度)	会社設立…相模原市、相模原商工会議所及び新事業創出促進法に基き地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）が出資し会社設立 増資…地元企業や地域金融機関などが出資 第 1 回女性起業家育成セミナー開催
2000 年度 (平成 12 年度)	S I C-1（インキュベーションセンター）オープン 第 1 回ビジネスプランコンテスト開催
2001 年度 (平成 13 年度)	第 1 回さがみはら子どもアントレプレナー体験事業開催 増資…相模原市、地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）、地元企業が出資
2002 年度 (平成 14 年度)	S I C-2（ポストインキュベーションセンター）オープン 女子美術大学と「ヒューマンデザイン開発支援事業」に関する協定を締結、中小企業のデザインを支援するデザイン開発支援事業を開始 経済産業省から「即効型地域新生コンソーシアム事業」を受託 第 1 回「S I C 経営塾」開講
2003 年度 (平成 15 年度)	職業能力開発総合大学校と「地域企業活性化支援事業」に関する協定を締結 八千代銀行と「起業家支援事業」に関する協定を締結 地域企業 450 社の実態調査を実施
2004 年度 (平成 16 年度)	神奈川工科大学と「産学連携事業」に関する協定を締結 第 1 回「S I C アントレ・インターンシップ」開講 かわらばん（入居企業版）創刊号発行
2005 年度 (平成 17 年度)	S I C 1 号投資事業有限責任組合（S I C ファンド）を組成 神奈川県から「新産業創出拠点形成促進事業」を受託 S I C 燃料電池研究会が発足 第 1 回 SIC 起業家塾開講
2006 年度 (平成 18 年度)	相模原市から「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の運営を受託
2007 年度 (平成 19 年度)	第 1 回職場リーダー塾開講 SPS 研究会が発足
2008 年度 (平成 20 年度)	株式会社カイゼン・マイスターと業務提携し、地元企業向けのカイゼン支援を開始 かわらばん（地域企業版）創刊号発行
2009 年度 (平成 21 年度)	さがみはら企業力支援事業を開始、併せてメンター（経営指南者）制度を創設 緊急雇用事業を相模原市から受託し、大規模な市内企業実態調査や産業界の人づくり支援事業などの人材育成に取り組む 経済産業省から「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」を受託
2010 年度 (平成 22 年度)	さがみはら表面技術研究所オープン インキュベーション型シェアードオフィス「DESK®」オープン 第 1 回台湾ビジネスマッチングを開催
2011 年度 (平成 23 年度)	台湾工業技術研究院と連携協定を締結 S I C-3（イノベーションラボ）オープン S I C 台湾ビジネスセンターオープン 経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」を受託 企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 地域発信冊子「葎尾根のブルーベリー」発行
2012 年度 (平成 24 年度)	神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」等を受託 経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」を受託 インキュベーションセンター「T-BISC」、「MBDA」の計画・運営サポートを受託 第 1 回 SIC カイゼン研究会開講 第 1 回南西フォーラムビジネスマッチング開催
2013 年度 (平成 25 年度)	財団法人台湾建築中心と連携協定締結 財団法人金属工業研究発展中心と連携協定締結

3-2

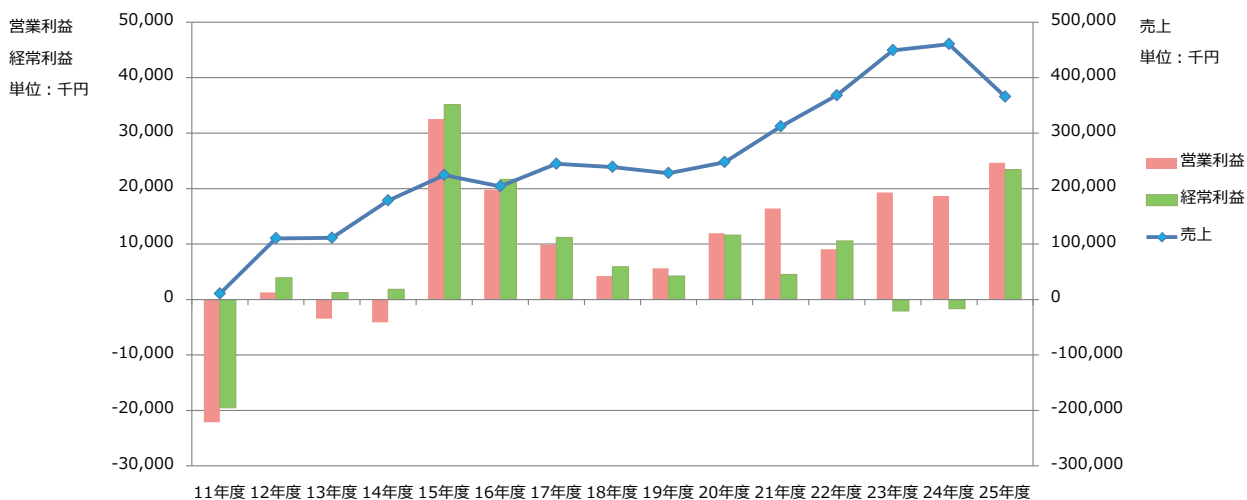
主な事業と開始年度（カテゴリー別）

年 度	ラボ・オフィス	経営サポート	技術開発	人材育成	資金調達	販路開拓
1999年度 (平成11年度)		・ビジネスプランコンテスト	・新規成長産業連携支援事業	・女性起業家育成セミナー		
2000年度 (平成12年度)	SIC-1 オープン	・株式公開塾 ・入居企業セミナー	・中小企業のための技術セミナー			
2001年度 (平成13年度)			・ミニコンソーシアム事業	・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業(小学生)		
2002年度 (平成14年度)	SIC-2 オープン	・アントレフォスター事業 ・中小企業のデザイン開発支援	・経済産業省「即効型地域新生コンソーシアム」受託	・SIC経営塾 ・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業(中学生)		・KSPベンチャーマッチング商談会に参画
2003年度 (平成15年度)		・八千代起業家支援プログラム ・地域企業実態調査(450社)	・大学シーズ調査	・SIC経営者セミナー		
2004年度 (平成16年度)		・さがみはら青年アントレプレナープロデュース事業 ・かわらばん(入居企業版)創刊号発行	・新技術創造研究会	・SICアントレ・インターン		
2005年度 (平成17年度)			・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」受託 ・燃料電池研究会発足	・SIC起業家塾	・SIC1号投資事業 有限責任組合組成	
2006年度 (平成18年度)		・チャレンジショップ	・「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」受託	・SIC起業家育成大学校	・入居企業4社、地域企業3社に出資	
2007年度 (平成19年度)			・SPS研究会	・SIC職場リーダー養成塾		
2008年度 (平成20年度)		・中小企業のカイゼン活動支援 ・かわらばん(地域企業版)創刊号発行	・実用化開発支援			・SICテクノロジーマッチング ・KSP協創マッチングフォーラムに参画
2009年度 (平成21年度)		・メンター制度 ・さがみはら企業力支援事業 ・地域企業実態調査(500社)	・経済産業省「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」受託	・地域産業界の人づくり支援事業 ・さがみはら未来塾 ・ベンチャー・中小企業人材確保支援事業		
2010年度 (平成22年度)	DESK® オープン	・ソーシャルビジネス創育支援事業	・高度研究人材活用事業(さがみはら表面技術研究所) ・神奈川県バイオベンチャー人材活用事業			・台湾ビジネスマッチング開催 ・川崎市産業振興財団新事業マッチングフォーラム参画
2011年度 (平成23年度)	SIC-3 オープン	・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葎尾根のブルーベリー」発行	・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」受託 ・新製品開発のための「協創プロジェクト」 ・相模原市から「新技術実用化コンソーシアム形成支援事業」受託	・ISB公共未来塾		・台湾工業技術研究院と協定 ・SIC台湾ビジネスセンターオープン
2012年度 (平成24年度)	「T-BISC」、 「MBDA」 の計画・運営サポート	・SICカイゼン研究会 ・地域発信冊子「里山コミュニティ」発行 ・企業紹介冊子「い〜コトなび」発行	・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」	・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」 ・女性力発揮セミナー ・子どもワークショップ		・日本台湾アライアンスセミナー ・南西フォーラムビジネスマッチング
2013年度 (平成25年度)			・可搬型燃料電池・飲料水供給装置の開発			・財団法人台湾建築中心、財団法人金属工業研究発展中心と連携協定を締結 ・日台環境・建築ビジネスマッチングを開催

3-3

財務状況

P／L推移

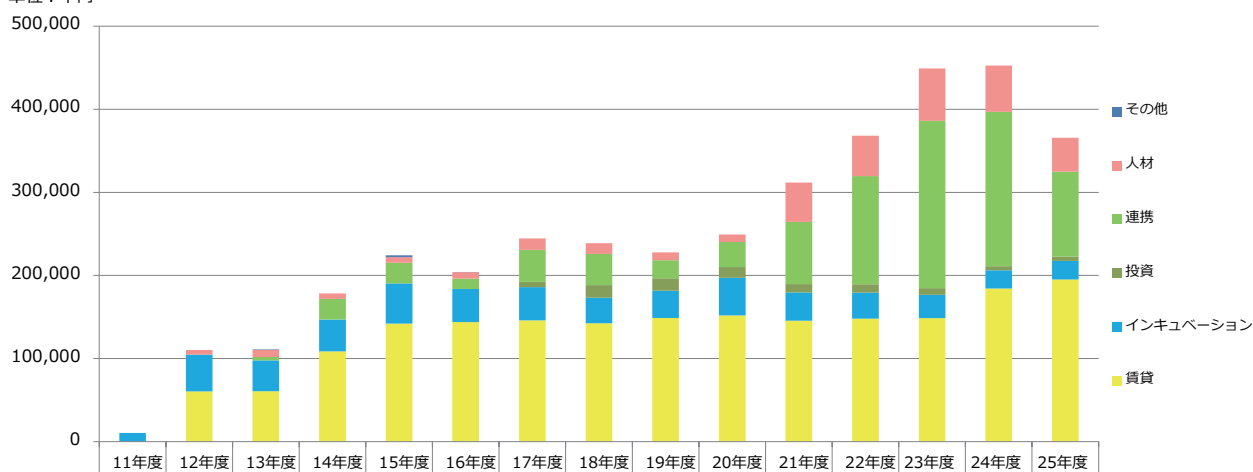


単位：千円

	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)
売上	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,221	452,739	365,658
営業利益	-22,122	1,257	-3,455	-4,101	32,523	19,804	9,914	4,219	5,620	11,946	16,397	9,080	19,283	18,649	24,640
経常利益	-19,522	3,922	1,256	1,817	35,141	21,656	11,200	5,910	4,242	11,604	4,514	10,568	-2,082	-1,641	23,436

事業別売上高の推移

単位：千円



単位：千円

	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)
貸貸	0	60,473	60,622	108,655	142,026	143,982	145,990	142,525	148,914	151,930	145,552	147,969	148,705	184,290	195,181
インキュベーション	10,429	44,344	37,125	38,379	48,475	39,669	40,038	30,769	32,709	45,225	34,042	31,402	28,039	21,837	22,348
投資	0	0	0	0	0	0	6,250	15,000	15,000	12,915	9,999	10,000	7,917	5,000	5,000
連携	0	0	4,130	24,713	24,744	12,530	38,545	37,595	21,655	30,258	74,868	130,200	201,456	185,723	102,340
人材	0	5,447	8,629	6,576	6,785	7,809	13,699	12,922	9,525	8,969	47,363	48,574	63,105	55,889	40,788
その他	0	0	502	0	2,240	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上合計	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,222	452,739	365,658

3-4

競争的資金の獲得

年 度	資金獲得先	事 業 名	資 金 額
平成 14 年度	経済産業省	即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業 「次世代デバイス用超高精度ナノレベル研磨・洗浄複合装置の開発」	40,000
平成 17 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	20,000
平成 18 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	22,000
平成 20 年度	中小機構	川上川下ネットワーク構築支援事業 「次世代エネルギーシステムの早期実用化ネットワーク構築」 新現役チャレンジ支援事業 「新現役人材による中小企業支援のモデル事業としてカイゼン支援プログラム開発」 ビジネス・インキュベータ（B I）における広域的ネットワーク構築の調査事業 「“グループインキュベーション”手法の開発と検証 ―ネットワークによる支援と手法のネットワーク化―」	25,600
	神奈川県	ベンチャー創出促進モデルプロジェクト事業 「動物病院医療市場を対象とした犬のアレルギー及び免疫検査受託事業」 「静電エンコーダの事業化」	
平成 21 年度	経済産業省	低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業 「太陽光雨水などの自然の恵みを有効活用した安全・安心な低炭素社会システムの構築」	64,000
平成 22 年度	経済産業省	中小企業海外販路開拓支援事業（台湾ビジネスマッチング） 「神奈川県ビジネス・インキュベータ連携による I T / エレクトロニクス分野研究 関連型ベンチャー企業の海外販路支援事業」	11,500
平成 23 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」	7,000
	中小機構	B I ネットワーク構築事業 「T - B I S C の整備に協調・連携した国内外ビジネスマッチング事業」	
	神奈川県	新産業ベンチャー事業化支援事業 「生物機能制御・改善のための体内時計調節剤及び関連試薬の開発」	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成 24 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」 高度実践型支援人材育成事業	101,700
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわエネルギー関連ベンチャーマッチング・パートナーリング支援事業 新技術実用化コンソーシアム形成支援事業	
	相模原市	「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業	
平成 25 年度	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「表面形状を制御した医療用機能部品の要素開発」	8,000

単位：千円

3-5

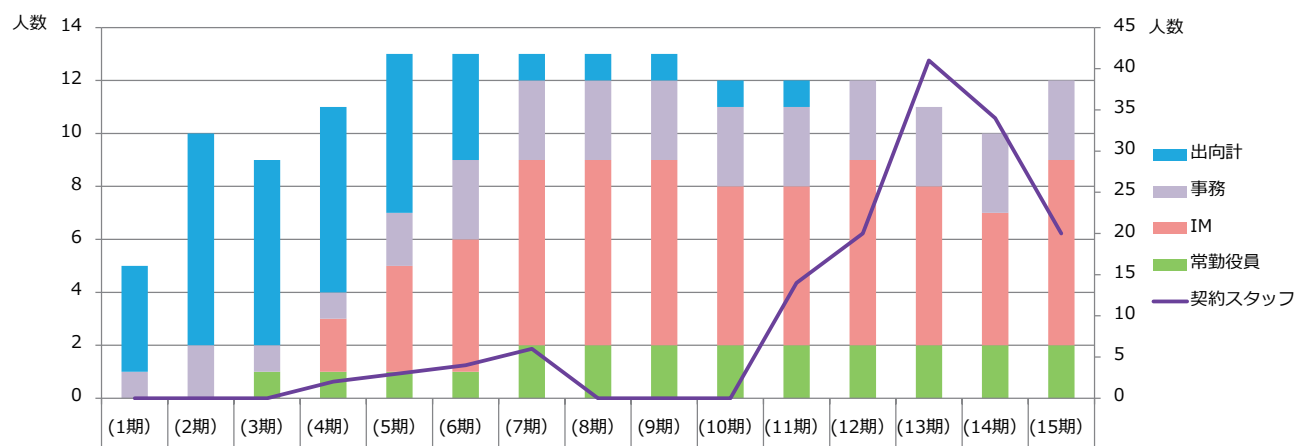
当社及び SIC ファンドの出資状況

	当 社		SIC ファンド	
	入居企業	地域企業	入居企業	地域企業
平成 13 年度		1 社 (2,400)		
平成 14 年度		1 社 (2,100)		
平成 16 年度				
平成 18 年度	1 社 (5,000)		4 社 (120,000)	3 社 (71,000)
平成 19 年度	1 社 (5,000)		1 社 (20,000)	2 社 (92,000)
平成 20 年度			1 社 (20,100)	
平成 21 年度				1 社 (6,752)
平成 22 年度				1 社 (15,000)

* () 数字は金額 単位：千円

3-6

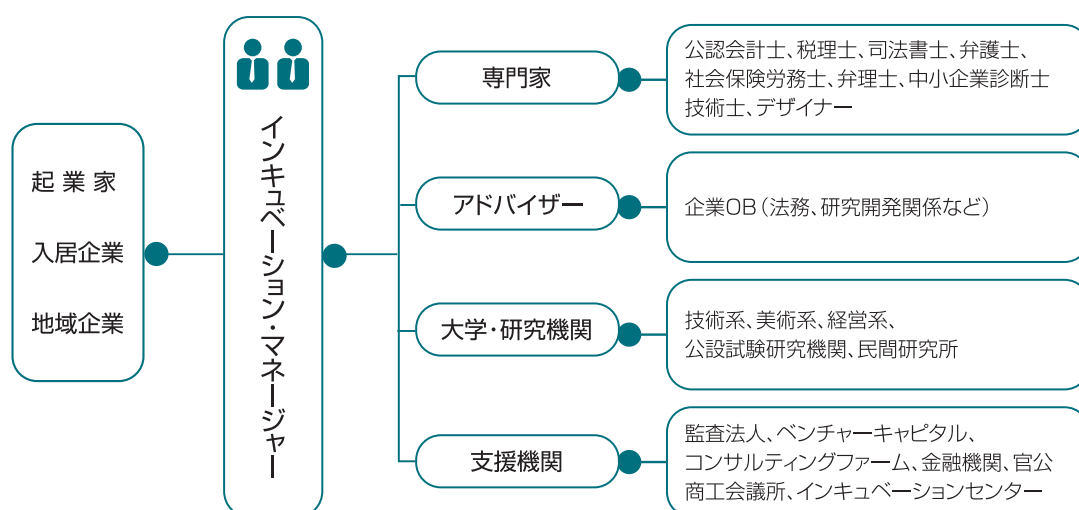
スタッフ数の変遷



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)
常勤役員	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2
非常勤役員	13	13	13	13	15	15	13	12	11	10	10	10	11	11	12
IM	0	0	0	2	4	5	7	7	7	6	6	7	6	5	7
事務	1	2	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
相模原市から出向	3	5	5	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中小機構からの出向	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銀行からの出向	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0
出向計	4	8	7	7	6	4	1	1	1	1	1	0	0	0	0
計	5	10	8	10	12	12	11	11	11	10	10	10	9	8	10
契約スタッフ	0	0	0	2	3	4	6	0	0	0	14	20	41	34	20
パートタイマー	0	1	1	4	2	2	4	3	1	1	1	1	3	3	3

3-7

支援ネットワーク



3-8

視察・研修の受け入れ

平成 25 年度 国内

名 称
視 察
中小企業基盤整備機構 北海道本部（北大ビジネススプリング）
株式会社八千代銀行施設見学会
新潟市産業政策課国際経済室
中小企業基盤整備機構 経営支援情報センター
埼玉大学経済科学研究科
岡山大学大学院 社会文化科学研究科
松山市産業経済部地域経済課
全国政令指定都市 産業振興部門
愛媛県 産業創出課
山形商工会議所
米沢商工会議所
鶴岡商工会議所
株式会社菊池製作所
町田市
岡山インキュベーションセンター
長野県
研 修
財団法人 日本立地センター ビジネス・インキュベーション（B I）研修
財団法人 日本立地センター インキュベーション・マネージャー研修

海外

年 度	名 称	国
平成 17 年度	チュニジアベンチャーキャピタル協会 海外技術者研修	チュニジア アジア、アフリカ諸国
平成 19 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA） モンゴル中小企業振興研修	アジア、アフリカ、中東、中南米諸国 モンゴル
平成 20 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA）	アジア、オセアニア、アフリカ諸国
平成 21 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA） 韓国インキュベーションスタッフ研修	アジア、オセアニア、アフリカ諸国 韓国
平成 22 年度	オマーン技術大学指導員研修 無錫市政府 マレーシア国職業訓練校指導員研修	オマーン 中国 マレーシア
平成 23 年度	工業技術研究院 中国山東省（対日投資）視察団	台湾 中国
平成 24 年度	中小企業支援法制度検討視察（JICA） 国際企業人材育成センター日本語プログラム研修 （台湾貿易センター）	ベトナム 台湾
平成 25 年度	アフリカ地域女性起業家支援セミナー（JICA） 台湾工業技術研究院 産業経済與趨勢研究中心	アフリカ諸国 台湾

3-9

新聞掲載 (25 年度)

年月日	新聞名	表 題
2013.4.10	相模経済新聞	日本初 施設運営ノウハウ外販
2013.4.30	相模経済新聞	SIC 経営塾塾生を募集中
2013.5.10	相模経済新聞	入居企業女子会開催
2013.5.20	相模経済新聞	台湾 2 機関と連携へ 市内企業の販路開拓狙い
2013.6.1	相模原市広報	さがみはら子どもアントレプレナー体験事業
2013.6.10	相模経済新聞	職場リーダー養成 中小企業対象
2013.6.25	日刊工業新聞	台湾 2 機関と提携
2013.6.25	日本経済新聞	台湾 2 財団法人と提携
2013.7.1	相模経済新聞	台湾 2 機関と業務提携 現地協業を支援
2013.7.1	相模経済新聞	南西フォーラム ロボット参入機会を考える
2013.7.20	相模経済新聞	南西フォーラム ロボット参入考える 市内産業関心高く
2013.8.10	相模経済新聞	市内の社長さん熱血指導 親子でモノづくり体験
2013.8.15	神奈川新聞	起業を疑似体験 児童 48 人キャンプ
2013.10.10	相模経済新聞	創・蓄・省エネフォーラム 次世代のエネ専門家が解説
2013.10.20	相模経済新聞	南西フォーラム ロボット研究会開催
2013.11.1	相模経済新聞	SIC セミナー 試算表について専門家が解説
2013.11.15	相模原市広報	女性向け・仕事力UPセミナー モチベーションUP、パフォーマンスUP
2013.12.1	相模経済新聞	南西フォーラム 産産マッチング開催
2013.12.5	日刊工業新聞	台湾環境機器八社 東京で 13 日発表会
2013.12.10	相模経済新聞	南西フォーラム 赤外線天文衛星で講演 17 日に宇宙科学研究会
2013.12.16	日刊工業新聞	環境で日台連携促す 機器や建材 海外進出支援
2014.2.1	相模経済新聞	南西フォーラム 介護ロボットで講演 参入企業の事例研究
2014.2.20	相模経済新聞	南西フォーラム 医療と介護のロボット紹介
2014.2.21	神奈川新聞	南西フォーラム ロボット活用フォーラム
2014.3.1	相模経済新聞	南西フォーラム宇宙ロボット 技術など紹介
2014.3.10	神奈川経済新聞	異業種 14 社で燃料電池を開発 災害時の活用想定 互いの得意技術を融合

3-10

広報紙 「かわらばん」の発行

▶ SICかわらばん（入居企業版） 内容：入居企業紹介、セミナー等情報提供、コラム等

発行No.	発行日	紹介企業名（入居企業）
No. 107	平成 25 年 4 月 1 日	オフィス アランチャ
No. 108	平成 25 年 5 月 1 日	(有) コンタミネーション・コントロール・サービス
No. 109	平成 25 年 6 月 3 日	ステラ技研 (株)
No. 110	平成 25 年 7 月 1 日	(株)HOYEN
No. 111	平成 25 年 8 月 1 日	東京理科大学 中田研究室
No. 112	平成 25 年 9 月 2 日	佐藤ライト工業 (株)
No. 113	平成 25 年 10 月 1 日	光 (株)
No. 114	平成 25 年 11 月 1 日	(株)シムロ
No. 115	平成 25 年 12 月 2 日	特許業務法人 大貫小竹国際特許事務所
No. 116	平成 26 年 1 月 1 日	
No. 117	平成 26 年 2 月 1 日	木下敦子税理士事務所
No. 118	平成 26 年 3 月 1 日	(株)東京IT経営センター



▶ SICかわらばん（地域企業版） 内容：地域企業紹介、入居企業紹介、セミナー等情報提供、地元紹介、コラム等

発行No.	発行日	紹介企業名（地域企業）	紹介企業名（入居企業）
No. 24	平成 25 年 4 月 19 日	(株)和広	こざ企画
No. 25	平成 25 年 7 月 1 日	(株)コバヤシ精密工業	(有) コンタミネーション・コントロール・サービス
No. 26	平成 25 年 9 月 2 日	(株)ホンマ電機	ステラ技研 (株)
No. 27	平成 25 年 11 月 1 日	日本化工機材 (株)	光 (株)
No. 28	平成 26 年 1 月 1 日	(株)ノイズ研究所	佐藤ライト工業 (株)
No. 29	平成 26 年 3 月 1 日	(株)オンザウェイ	特許業務法人 大貫小竹国際特許事務所



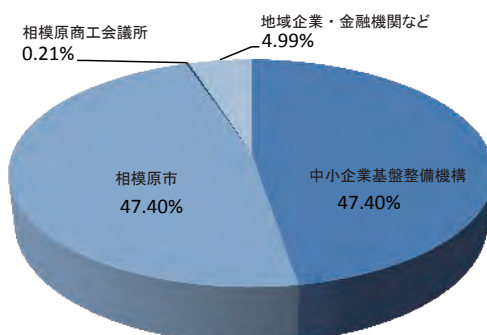
3-11

株主と役員

株主数：31 者 発行済株式の総数：47,890 株 資本金：23 億 9,450 万円

相模原市	独立行政法人中小企業基盤整備機構
株式会社ボイス	株式会社ハリマビシステム
古木建設株式会社	株式会社八千代銀行
株式会社横浜銀行	西武信用金庫
湘南デザイン株式会社	株式会社三菱東京UFJ銀行
相模原商工会議所	日本テクノ株式会社
城山工業株式会社	日本電子工業株式会社
三菱重工業株式会社	権田金属工業株式会社
株式会社相模運輸	相模原市農業協同組合
相模ガス株式会社	株式会社昭和真空
株式会社ア・ドマニー	篠崎電業株式会社
タイヨー印刷株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
東邦電子株式会社	野村 隆
ブックオフコーポレーション株式会社	アイシンク株式会社
石川幸二	Apex 株式会社

構成割合



代表取締役	中嶋 隆	
専務取締役	山本 満	
取締役	松岡 康彦	(湘南デザイン株式会社 代表取締役)
	吉田 修一	(株式会社相模運輸 代表取締役)
	山崎 利宏	(城山工業株式会社 代表取締役)
	西澤 勇司	(株式会社キャロットシステムズ 代表取締役)
	杉本 祥一	(株式会社ハイスポット 代表取締役)
	古橋 裕一	(相陽建設株式会社 代表取締役)
	平田 光子	(日本大学大学院グローバル・ビジネス科 教授)
	新津 昭博	(相模原市 環境経済局 経済部長)
	久保田 修	(相模原商工会議所 中小企業振興部長)
監査役	石川 幸二	
	原田 恒敏	(公認会計士原田恒敏事務所 代表)
	山田 真矢	(株式会社横浜銀行 相模原駅前支店長)
	伊藤 亨	(株式会社八千代銀行 相模原法人営業部 部長)

さがみはら
産業創造センター

- 中央自動車道
八王子インターチェンジまで約11km
- 東名高速自動車道
横浜町田インターチェンジまで約17km
- 新横浜駅まで約30分
- 東京駅まで約60分
- 新橋駅まで約40分
- 横浜駅まで約40分
- 橋本駅南口から徒歩10分(約1km)

★お車でお越しの場合

SIC-1へは「西橋本3丁目」交差点方向より、SIC-2へは「橋本高校前」交差点よりお越し下さい。(反対方向からは進入できません)

SICBI
i-Lab.



Tel:042-770-9119(代) Fax:042-770-9077
URL <http://www.sic-sagamihara.jp>